DJ-CH202/272 その他の機能について

デュアルオペレーションモード

メイン/サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互に受信し、そのどちらとも通信することができるモードです。あらかじめサブ側をメモリー登録しておく必要があります。

1.サブ側をメモリー登録する

サブ側に設定する内容(チャンネル、トーン番号など)表示中に【GROUP】キーを約2 秒押します。

→「b writ」と表示され、サブ側にメモリー登録されます。

注）サブ側をメモリー登録する際は、セットモードのEG項目（緊急通報機能）は
OFFにしておいてください。登録後は緊急警報機能を使うことができます。
但し、チャンネルの状態にかかわらず緊急通報は常にメイン側で発報されます。

2.メイン側を設定する

メイン側に設定する内容(チャンネル、トーン番号など)を合わせ、【PTT】キーを1回押します。

3.電源を切る

4.デュアルオペレーションモードにする

CH【▼】キーを押しながら電源を入れます。

→「dUAL」と表示され、メイン側を「A」、サブ側を「b」として交互受信がスタートします。
信号を受信すると交互受信が停止し通話することができます。

5.送信する

【PTT】キー一度押しでメイン側、二度押しでサブ側を送信します。
デュアルモード運用中は、PTTを押してから送信されるまで、通常時よりも時間が掛かります。
PTTを押してから、一呼吸置いて話し始めてください。

→通話が終了し約5秒経過で交互受信を再開します。

6.デュアルオペレーションモードを終了する

電源を入れ直します。

メモ）電源を入れ直してもデュアルオペレーションモードで起動させるにはキーロックを設定しておきます。

リモコンモード　・・・DJ-CH272のみ

中継器の設定（チャンネル、トーン番号など）を遠隔操作で変更することができます。
中継器DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112R、DJ-R200D（リモコン受信設定：ON）に対応しています。

1. リモコンモードにする

CH【▲】キーを押しながら電源を入れます。
→「rmCon」と表示されたあと「中継」が点滅します。

2. 転送する内容を設定する

①チャンネル設定

CH【▲/▼】キーを押してチャンネルを設定します。

②グループトーク設定

【GROUP】キーを押します。
→グループ番号が点灯します。

③グループ番号を合わせる

【FUNC】キーを押しながら、CH【▲/▼】キーを押します。
グループ番号は「01～50」までと「tH」が選択できます。

メモ
- 中継器にトーンスルー機能を設定する場合には、グループ「tH」を設定します。
トーンスルー機能とは、同じチャンネルに設定している複数のグループが、別々のグループ番号を使用して1台の中継器を共有することができる機能です。
本機能で使用できるグループ番号は、「32～38番」「48～50番」の10通りです。
詳しくは中継器の取扱説明書をご覧ください。
- チャンネルやグループ番号は中継器と子機で同じに合わせます。

④その他の設定

必要に応じて、セットモードで自動接続手順、ハングアップタイマー、アラーム機能を設定します。

●自動接続手順「At」
設定値　ON/OFF（初期値ON）

中継器の設定をOFFにした場合、子機側の設定は「OFF」または「ON2」としてください。

●ハングアップタイマー「HUP」
設定値　0秒/0.5秒/1秒/2秒（初期値0秒）

設定した時間だけ中継動作を継続します。

●アラーム機能「AL」
設定値　ON/OFF（初期値OFF）

ONに設定すると中継動作の終了を音でお知らせします。

3. 転送する

【PTT】キーを約 2 秒押します。

→「ピピッ」音が鳴り、中継器への転送がスタートします。
転送中は「SEnd」が表示されます。

4. 中継器の電源を入れる

速やかに中継器に AC アダプターを接続します。（中継器の取扱説明書をご覧ください。）

→数秒後、転送が完了すると「〇〇」が表示され、本機から「プルル」音が鳴ります。

メモ	転送完了後、中継器は自動的に再起動します。再起動後 20 秒間は初期化がおこなわれ、その後中継器として使用できます。

5. 本機の電源を入れ直す

中継通信モードに戻り、中継器を介して通信することができます。

以上

アルインコ（株）電子事業部